

広報  
あかいけ

61年

月

No 279

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 28-2004

印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行



# 卒業: 別れ、旅立ち...そして出会い





3年2組 石川 隆雄 先生

さて君たちには今どんな思いを心に抱いているでしょうか。

自分の信じることを全力で

赤池中学校に私が転任して二年になります。卒業生との生活も二年間送ってきましたが、皆さんの為にも何もしやることができずに卒業させるような気がして申し分ないと思っています。



3年1組 井戸 龍生 先生

甘えを捨て さらに高い目標を

いつまでも忘れません お世話になった先生から君たちへ一言

将来の事などいろいろあるかと思えます。君たちの思い出は同時に私の思い出でもあります。

私はこの一年を思い出すと心残りがあります。君たちも知っているように、三十一名の卒業のほずですが、一名残念ながら君たちと供に卒業できません。

これも、自分の指導力のなさが、そして、本人との心に近づくことができなかったからです。

君たちは、これから先、心残りがないように、自分の信ずることに対して全力でがんばって下さい。私がんばりたいと思います。

子どもたちのふれ合いが心の糧



3年3組 川口昭次郎 先生

新採教師として、筑豊の赤池中学校へと奉職して、早や、三年の月日が流れました。赴任した当初は、生まれ育った筑後地方とは全くといっていいほど異質の風土に

とまどいの毎日でした。一人暮らしからお互いに頑張りましょう。



3年4組 永松紀代美 先生

思い出を大切に また、明日から

教える立場にありながら、生徒に教えられた事の方が多かったこの一年間。

心の中ではいつも、何かをしてあげたい気持ちでいっぱいだったけど、その思いの半分もかえせないまま卒業させる事が一番心残りです。この三年間、苦しいこと、つらいこと、たくさんあったと思います。でも、今は楽しかったことばかりが頭にうかんできます。

の生活の中で、子供達とのふれ合いだけが唯一の心の糧でした。それでも、生活指導に追われ、頭を悩ませ、心を痛めることも多く、父母との連携の難しさをしみじみと感じた3年間でした。

校長先生、教頭先生をはじめ、同僚の先生方から暖いご指導を受け新米教師も、どうにか大過なく卒業の日を迎えることができました。本当に長きにわたり見守っていただき、ありがとうございます。一三〇人の子供達元気で、

赤池中

赤池中学校の第38回卒業式は3月14日、小雨の降る中、同校体育館で行われました。村上慶悉校長から、男子78人、女子52人の130人の卒業生一人ひとりに卒業証書が3手渡されました。

村上校長は、「かけがえない命、1回きりの人生だということ、事あるごとに自分に言い聞かせてほしい。きっと進む道が開けてくる。」「『玉みがかざれば光なし』人間も同じだ。鍛えることが人間の値打ちである。そうすれば1人ひとり持ち味のある光が輝いてくる。」また、「人との出会いを大切にしてほしい。出会いの中でお互の良



在校生や父母に見送られ学舎を後にする卒業生

さを学んでほしい。」と卒業生に3つの言葉を贈りました。

池田教育長は、「形から心は生まれる。生活習慣を大切にしてほしい。」池永町長は「社会のきまりごと、約束を守り、都会へ出て知識を得、再びこの赤池に帰って、まちづくりに協力してほしい。」と、不安と希望に満ちた卒業生を激励しました。

教室に戻った卒業生は、先生と最後の別れを惜み、泣きながら、お世話になった先生へプレゼントを渡すクラスもありました。



代表の野村真理君に町よりの記念品が贈られました

上野小

3月19日午前10時から上野校43人の卒業式がありました。宮崎憲一校長から1人ひとり卒業証書を受けとり、「自分の考えをしっかりもち、他人に左右されない主体性、自主性を持って今後の人生を送ってほしい」と贈る言葉がありました。

卒業を前にした3月14日には、「1年間をふり返り、六年生との楽しい思い出を呼び起しましょう。」と児童会主催のお別れ会が行われました。

在校生のアーチの中を入場した六年生に、1年生は手づくりのメダルをプレゼント。歌や色んな出し物で六年生と別れる前の楽

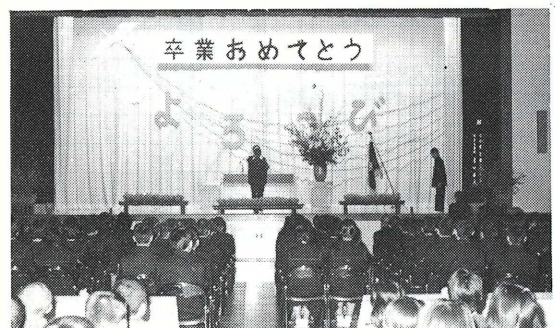


会食会で全先生に花束をプレゼント

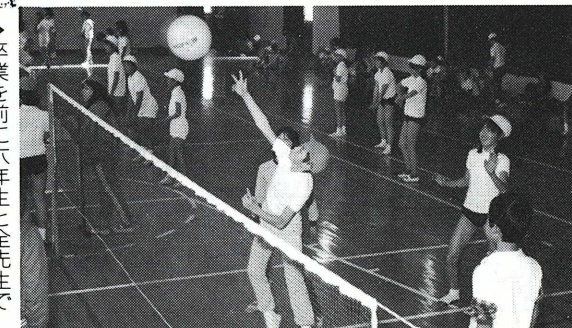
しいひとときを過ぎました。また、午後からは、六年生手づくりのサンドイッチでお世話になった全先生を招待。「先生いつまでもお元気で、卒業しても忘れないください。」と会食会をしました。



お別れ会では各学年とも色々な出し物で六年生を送りました



愛校作業 六年間の学舎をきれいにして卒業を迎えました



卒業を前に六年生と全先生でミニバレーを楽しみました

市場小

市場小学校の卒業式も同じく3月19日、10時から行われました。

105人の卒業生1人ひとりに高尾春雄校長から卒業証書が手渡され、同時に卒業生1人ひとりの顔が写真スライドで写し出されました。

高尾校長は、「欠点は努力で補い、これだけは友達に負けないというものをつくってくだ

さい。思いやりの心を大切に、また、健康に十分気をつけてください。」とお祝いの言葉を贈りました。

卒業生が「六年間で人の命の大切さと、学ぶことの楽しさを知りました。中学という次の峰を目指して力いっぱい出発します。」と思い出を1人ひとり発表すると会場のお父さんお母さんの席からすすり泣く声があちこちで聞こえました。

